

(様式3)
【学校用】

ふるさと教育 取組事例

学校名	雲南市立佐世小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
6	国語 総合的な学習の時間	町の幸福論 佐世・大東の未来を考える	佐世交流センター 佐世地区振興協議会
ねらい	自分たちの町について調べることを通して、故郷への愛着を高める。また、調べたことを地域住民に伝えることを通して、表現力を育成するとともに、地域の一員としての自覚を高める。		

1 取組の概要

- (1)国語「町の幸福論」を学習し、自分たちの町について課題をもつ。
- (2)地域自主組織の方のお話を聞き、自分たちの町の現状を把握する。
- (3)課題別にグループを作り、他地域の取組を参考にしながら、課題解決の方策を考える。
- (4)学習発表会、学校運営協議会等で発表する。(プレゼンテーション)

2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- 地域のことを日々考え、地域の中で活動しておられる方をゲストティーチャーとして招き、資料を紹介してもらったり、地域の現状について話してもらったりすることで、ふるさとを守る工夫や努力について実感的にとらえ、故郷への貢献意欲を高めることができるようにする。

(学力育成の視点から)

- 自分たちが考えたふるさとをよりよくするための方策を多くの人に知ってもらうためには、どんな内容をどのように伝えとよいか考えることを通して、表現力の向上をめざす。
- 情報の収集、分析、取捨選択等の活動を繰り返しながら、思考力や判断力の向上をめざす。

3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- 児童の発表を受けて地域自主組織が立ち上がり、子ども達が考えたふるさとをよりよくするための方策の一つが実現する運びとなった。ふるさとを思い一生懸命考え、伝えたことが、地域の大人を動かし実際に地域全体を巻き込んだイベントとなったことで、地域の一員としての自覚や自己有用感を高めることができた。

(学力育成の視点から)

- より分かりやすく伝えるために、言葉を練り直したり、はっきり話す練習をしたりするなど、表現力の向上が見られた。
- 情報収集の仕方を学んだり、必要な情報を選択したりする、情報活用能力を養うことができた。



4 課題や今後の展望

- 児童の提案を多くの地域の方に聞いてもらいたいが、コロナ禍で一斉に集まって発表することが難しい。どのようにして地域に発信していくか検討していく必要がある。

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。
(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)